

衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会ニュース

平成 27.3.19 第 189 回国会第 3 号

3 月 19 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 中根外務大臣政務官及び宇都外務大臣政務官からそれぞれ就任の挨拶が行われました。

2 沖縄及び北方問題に関する件

- ・山口国務大臣（沖縄及び北方対策担当）、岸田外務大臣、平内閣府副大臣、中山外務副大臣、左藤防衛副大臣、赤池文部科学大臣政務官、青木国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

松木 けんこう君（維新）

- ・平成 20 年及び 25 年に政府が実施した「北方領土問題に関する特別世論調査」の調査結果を伺いたい。また、同調査結果を受けて、北方領土の返還に向けた政府の取組について伺いたい。
- ・同調査の中で、「若い世代の返還要求運動への参加促進について」との問いに対し、「北方領土問題に対する正しい理解と認識を持たせるための学校教育の充実」を挙げている者が 5 割強となっている。学校教育を通じて北方領土問題の認識を高めることが重要と考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・翁長沖縄県知事と菅官房長官との面会を早期に実現すべきと考えるが、山口国務大臣の所見を伺いたい。

鈴木 貴子君（民主）

- ・在沖海兵隊のグアム移転計画について、米海兵隊総司令官が米国議会で日米合意と異なる認識を示したことに関し、政府がどのような対応をとったか伺いたい。
- ・普天間飛行場の移設問題に関して、沖縄県が求めた臨時制限区域内の立入り調査を米軍が拒否した理由及びその理由の合理性について政府の見解を伺いたい。
- ・北方領土問題の解決に向けた新たな取組として、北方領土におけるロシアとの共同経済活動を日本側のイニシアティブで進める必要があると考えるが、岸田外務大臣の見解を伺いたい。

鷲尾 英一郎君（民主）

- ・沖縄及び南西諸島周辺海域における中国軍の活動の現状並びにそれに対処する防衛省・自衛隊の態勢がどのようになっているのか伺いたい。
- ・台湾と沖縄周辺海域における日台漁業取決めについて、操業ルールの見直しの進捗状況を伺いたい。

- ・日露関係が推移する中で、北極海航路の活用に関して両国間でどのような取組が行われているのか伺いたい。

赤嶺 政賢君（共産）

- ・平成 26 年の沖縄県知事選挙等において、普天間飛行場の辺野古移設反対を公約に掲げた候補者が当選し、沖縄県の民意は米軍基地と沖縄振興策はリンクしないことを示したと考えるが、米軍基地と沖縄振興策の関連性について山口国務大臣の見解を伺いたい。
- ・沖縄県は国庫支出金や地方交付税により他県と比較して国から過度の財政支援がなされていると一般に誤解されていると考えるが、政府の認識を伺いたい。
- ・沖縄県は戦争の影響により国民健康保険制度における前期高齢者（65～74 歳）加入率が低く、前期高齢者交付金が少ないことから、市町村国保の財政が悪化している状況に鑑み、新たな財政支援措置を講じる必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

稲津 久君（公明）

- ・平成 27 年 2 月の日露外務次官級協議におけるプーチン大統領の訪日等を含む北方領土問題に係る協議の具体的な内容を伺いたい。
- ・北方領土問題に関する若者への啓発のため、参加型イベントなどの様々な取組が行われていると承知しているが、スマートフォンや SNS を活用するなど今後の啓発事業の取組について伺いたい。
- ・沖縄科学技術大学院大学への財政支援に対し、同学園法の附則に 10 年を目途とした見直し規定が設けられているが、これを前倒して財政支援の在り方を検討する必要があると考えるが、政府の見解を伺いたい。

宮崎政久君（自民）

- ・平成27年度沖縄振興予算総額3,340億円の編成経緯及び前年度からの減額理由について伺いたい。
- ・観光客が天候や昼夜を問わず楽しめる様々な観光資源を

活用した新たなインバウンド戦略を展開する必要があると考えるが、平内閣府副大臣の所見を伺いたい。

- ・国道58号線の渋滞を抜本的に解消するため、西海岸道路の早期整備が必要であると考えているが、政府の見解を伺いたい。

3 沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律案（内閣提出第9号）

- ・山口国務大臣（沖縄及び北方対策担当）から提案理由の説明を聴取しました。